

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 12 日 (2021.8.12)

【公開番号】特開 2020-26453 (P2020-26453A)

【公開日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)

【年通号数】公開・登録公報 2020-007

【出願番号】特願 2018-150697 (P2018-150697)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/38 (2014.01)

C 0 9 D 11/322 (2014.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/38

C 0 9 D 11/322

B 4 1 M 5/00 1 2 0

B 4 1 M 5/00 1 3 2

B 4 1 M 5/00 1 0 0

B 4 1 M 5/00 1 1 2

B 4 1 J 2/01 5 0 1

B 4 1 J 2/01 1 2 5

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 30 日 (2021.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カルボジイミド化合物、顔料、ビニルポリマー、及び水を含有するインクジェット記録用水系インクであって、

ビニルポリマーが酸価 70 mg KOH / g 以下のカルボキシ基を有するポリマーであり、
ビニルポリマーが架橋されてなるポリマーであり、

顔料が顔料を含有するポリマー粒子の形態である、インクジェット記録用水系インク。

【請求項 2】

ビニルポリマーの含有量が 0.5 質量% 以上 15 質量% 以下である、請求項 1 に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 3】

ビニルポリマーに対するカルボジイミド化合物の質量比（カルボジイミド化合物 / ビニルポリマー）が、0.01 以上 1.0 以下である、請求項 1 又は 2 に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 4】

ビニルポリマーが、イオン性モノマー由来の構成単位と疎水性モノマー由来の構成単位を含有する、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 5】

疎水性モノマーが、アルキル（メタ）アクリレート、芳香族基含有モノマー、及びマクロモノマーから選ばれる 1 種以上を含有する、請求項 4 に記載のインクジェット記録用水

系インク。

【請求項 6】

ビニルポリマーが、更に親水性ノニオン性モノマー由来の構成単位を含有する、請求項 4 又は 5 に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 7】

ビニルポリマーが、多官能エポキシ化合物で架橋されてなる、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 8】

多官能エポキシ化合物が、水不溶性多官能エポキシ化合物である、請求項 7 に記載のインクジェット記録用水系インク。

【請求項 9】

カルボジイミド化合物及び水を含有する水性組成物と、顔料及びビニルポリマーを含有する水系インクとを含む、インクジェット記録用インクセットであって、

ビニルポリマーが酸価 70 mg KOH / g 以下のカルボキシ基を有するポリマーであり、ビニルポリマーが架橋されてなるポリマーであり、
顔料が顔料を含有するポリマー粒子の形態である、インクジェット記録用インクセット。

【請求項 10】

水系インクの色相が 2 種以上である、請求項 9 に記載のインクジェット記録用インクセット。

【請求項 11】

下記工程 1 及び工程 2 を有する、インクジェット記録方法。

工程 1：カルボジイミド化合物、顔料、ビニルポリマー、及び水を、記録媒体表面にインクジェット方式により吐出させ、記録画像を得る工程

ここで、ビニルポリマーは、酸価 70 mg KOH / g 以下のカルボキシ基を有するポリマーであり、ビニルポリマーは架橋されてなるポリマーであり、
顔料は顔料を含有するポリマー粒子の形態である。

工程 2：工程 1 で得られた記録画像を 50 以上 200 以下の温度で加熱処理する工程